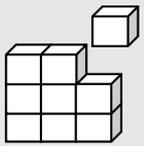
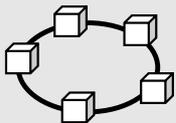


# ～テーマ研究ICEルーブリック評価表～ H30年度

2年	組	番氏名	テーマ
----	---	-----	-----

**テーマ研究の大目標：「熊本の創造的復興に寄与できる人材の育成」  
つまり『困難があっても自分なりに考え、解決できる人になろう！』**

それぞれの観点において、当てはまる事柄（文章）にすべて○を付けてください（複数回答可）。  
マーケティングゼミのポスターのどこが当てはまるか考えてみましょう。

評価の観点 (ある程度できている:0.5点)		I(Ideas) -習得-	C(Connections) -活用-	E(Extensions) -探究-	
		(1点)	(1点)	(1点)	
ICE評価の概念		知識の蓄積ができていますか？情報の収集、分析、保存ができていますか？ 	複数の事柄を関係付けて考えることができますか？知識と日常生活での経験をつなげることができますか？ 	根拠を持って予測を立てられていますか？今までの知識を総動員して、未知の課題に論理的に取り組みえていますか？ 	<b>小計</b>
<b>みつめる力</b>	課題発見力	研究課題を適切に表現している。 →研究課題(テーマ)	研究課題に関連する学問領域が適切である →研究領域	世の中をよくしようとする視点がある。または、社会で共有したい知的好奇心を刺激する内容である。 →研究目的と背景	<b>点</b>
<b>きわめる力</b>	実行力・計画力	適切な資料を収集できた。 →参考文献	仮説を立証するための調査や実験を適切に行うことができた。 →研究の方法	実験や調査から独自性の高い考察を得ることができた。 →考察	<b>点</b>
	論理的思考力	仮説が成立している。 →仮説	数値を用いて検証している。 →結果、考察	証拠となる数値の妥当性を検証している。 →結果、考察	<b>点</b>
<b>つなげる力</b>	表現力	ポスターが丁寧で、文章が正確である。 →ポスター全体	ポスターにグラフや表、写真等が1つ以上ある。 →研究の方法、結果	一見して何のポスターであるかがわかり、人の興味・関心を引き付けられそうである。 →ポスター全体	<b>点</b>
	完成度、+α	英語文献の引用がある →参考文献	<b>ゼミ独自の評価</b>	<b>ゼミ独自の評価</b>	<b>点</b>
<b>ICE評点</b>		<b>I得点</b>	<b>C得点</b>	<b>E得点</b>	<b>総計</b>
		<b>点</b>	<b>点</b>	<b>点</b>	<b>点</b>

**◆2学期の予定**

- ①9月2日 SST
- ②9月12日 夏休み中の成果報告会  
あとは黙々と調査、研究、ポスター作成です。
- ③11月21日、12月5日 ゼミ代表決め

**◆夏休み中にできること**

- ①新聞や雑誌のスクラップ→資料作り(家族と協力してもよい)
- ②自分なりに実験をしてデータをつくる(特にトレーニング系の人)
- ③オープンキャンパスで関係ありそうな資料、イベント、先生や学生さんと直接話す機会を見つける。(進路研究も兼ねる)
- ④同じような研究をしている人がいないか調べる。  
いたら、検討しまだ解決されていない課題がないか確認する。
- ⑤関係ありそうな研究をしている大学のHPをしてみる。  
研究室や大学の先生のブログまで深く検索する。
- ⑥ネットでの検索は英語でもやってみる。情報量が違う。
- ⑦フィールドワーク(現地で調査)に行くときは、事前の調査、準備を十分に。